

平成30年度教育委員会行政視察について

1 視察日程

平成30年11月14日(水)～11月16日(金) 2泊3日

2 視察先と主なテーマ

- (1) 那覇市教育委員会【平和教育、性的マイノリティへの配慮、子どもの貧困対策】
- (2) 沖縄県平和祈念資料館【平和教育】
- (3) 読谷村教育委員会(チビチリガマ、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム)【平和教育】
- (4) 沖縄市教育委員会(美原小学校)【外国にルーツをもつ児童生徒への対応】

3 視察者

教育長 遠藤 洋路

委員 森 徳和、泉 薫子、出川 聖尚子、小屋松 徹彦、西山 忠男

(随行者:教育委員会指導課 教育審議員 廣瀬 泰幸)

4 視察内容

A 那覇市教育委員会【平和教育、性的マイノリティへの配慮、子どもの貧困対策】

日時 11月14日(水) 14:00～16:00

概要説明

(1) 平和教育について

学校における平和教育の取組

重点事項

- 学校の教育活動全体を通じた平和教育の推進
 - ・沖縄戦が終結した6月を平和月間と位置づけ、全校で「平和を考える集会」を開催。図書で紹介、平和新聞作り等。県条例で6月23日は「沖縄慰霊の日」学校公休日
 - 校内研修等を通じた平和教育の指導の工夫改善
 - ・校内研修での長期休業期間中のフィールドワーク
 - 郷土の平和的特性や平和教育関連施設の活用を推進
 - ・平和教育担当者研修会(5月と8月)を開催。年々、改良している(事例紹介、地域側から見た平和教育について自治会長が報告する等)
 - ・対馬丸記念館を活用した平和教育(対馬丸ワークブックの活用)
- 今後の課題
- ・語り部の高齢化 講師の確保
 - ・組織的、体系的な研修の実施
 - ・日常の教育との関連づけ(探求的な学びにするため、教科横断的な取組にしていく必要あり)



【那覇市教委職員による説明】



【市庁舎内 レインボーフラッグ】

(2) 学校における性的マイノリティへの配慮

指針策定の背景

- ・「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(「レインボーなは」宣言)(H27年7月)を根幹に、「学校におけるLGBTへの配慮に関する指針」策定(H29年度)
- 学校における取組
 - ・男女とも名前を「さん」付けて呼ぶ。
 - ・学級掲示等、児童生徒に見える形での男女の表記はしない。
 - ・「性」に悩む子どもたちの学校生活を支援する。
 - ・「男女混合名簿」を全小中学校で実施している。(H30年度から)
 - ・保護者や地域への理解を図る。
 - ア 入学説明会や学校説明会等での説明
 - イ 文書等での通知
 - ウ 「性の多様性」への理解についてPTAや関係機関との連携

(3) 子どもの貧困対策事業について (教育相談課主管)

内閣府からの補助は、H28年度10割、昨年度から今年度までは9割である。来年度は8割の見込み。

子どもの貧困対策支援員事業

事業名 子ども寄添支援員(SSW:スクールソーシャルワーカー)配置事業

予算額: 57,874千円

配置人数: 18人(非常勤職員)うち1人はコーディネーター

勤務形態: 週4日勤務(1日7時間30分)

業務: 学校からの情報提供をもとに、気になる児童生徒の家庭に働きかけ、関係機関と連携して、子どもを支援につなげる調整を行う。

子どもの居場所の運営支援事業

事業名 自立支援教室「むぎほ学級」事業

予算額: 16,498千円

配置人数: 5人(非常勤職員)

勤務形態: 週5日勤務(1日6時間)

業務: 不登校児童生徒対象

マンツーマンで対応 自宅へのアウトリーチ及び送迎支援あり

週2回程度。学校からの依頼に基づき受け入れ 出席扱い

質疑応答

平和教育について

どうして那覇市では、対馬丸を中心に取り組んでいるのか。

対馬丸の母港が那覇港であり、多くの人々が見送った。学童の多くは、那覇市の子どもだった。また、多くの子どもが犠牲になったことで、年代が近いので身近に感じられるから。

低学年の子どもへは、どのような平和教育をしているか。

低学年児童には、講師による話は難しいので、絵本や歌を活用。低・高学年別の平和集会。6年生が紙芝居を作り、低学年に読み聞かせをしたりしている。

LGBTへの配慮について

保護者の偏見の払拭にどう取り組んでいるか。

男女共同参画室と連携しながら、学校だより等を通じて学校の取組を知らせている。

子どもの貧困対策の推進について

子どもの貧困状況を見逃さないような手立ては？

SSWを全校に配置(1人で3校担当)し、週1回以上訪問できる体制をとっている。

SSWの確保のための方策は？

ハローワークに広告を出している。資格がない教育相談支援員でも採用。沖縄大学に委託し、ソーシャルワーク研修を受けさせスキルを向上させてきた。

B 沖縄県平和祈念資料館【平和教育】

日時 11月15日(木) 10:00~12:00

概要説明

○設立理念

沖縄の心とは人間の尊厳を何よりも重く見て、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間の発露である文化をこよなく愛する心である。

県民個々の戦争体験を結集したものである。

○施設の理念

「平和の礎」と一体となって、悲惨な沖縄戦の実相及び教訓を正しく継承し、世界の恒久平和を希求するとともに、人権や環境の問題などを視野に入れた積極的な平和観に立って、沖縄の視座から平和を世界に発信する拠点施設とする。総事業費 約73億円 国の補助は受けていない。



【館長による説明】

(1) 子どもたちへの平和教育の取組について

常設展示【5室からなる】(収蔵庫まで含めると、館内収蔵品3万点以上)

【第1室 沖縄線への道】

沖縄戦の実相を住民視点から描く。被災状況を立体地図や映像・実物等で展示。

【第2室(住民の見た沖縄戦『鉄の暴風』)】

沖縄戦の実相を住民視点から描く。被災状況を立体地図や映像・実物等で展示。

【第3室(住民の見た沖縄戦『地獄の戦場』)】

沖縄戦で住民の受けた惨劇を地下(ガマ)と地上(死の彷徨)で象徴的に展示。

【第4室(住民の見た沖縄戦『証言』)】

沖縄戦の体験を証言集と証言映像で展示。

【第5室(太平洋の要石(かなめいし))】

戦後の収容所生活、27年間の米軍統治、復帰運動、平和創造を目指す沖縄を展示。

学芸員による平和講話の実施

小学校88校 中学校12校 高等学校8校 特別支援学校3校(H29年度)

学芸員は、平和教育のため、小・中・高校から出向してきている。

(視察当日も、県内小学5年生向けの平和講話が行われており、参観できた)

講師派遣事業もある。(離島または遠隔地のみ)

特設授業で活用できる資料や沖縄戦の貸し出し

・砲弾の破片、手りゅう弾、銃弾による穴の開いた水筒、割れた茶碗など

・証言映像

・平和学習キット(キットA,B,C,D) 熊本でも借用できる(送料は、学校負担)

・写真パネル

(例)「老婆が路上で亡くなっている写真」と「それを見た人が描いた絵」を対比して子どもに示すと、「絵」の方に興味を示す。効果的な資料提示

(2) 平和祈念資料館の利用状況

○県内小中学校

小166校 中30校 (前年度比 小94.3% 中93.8%)

○県外修学旅行団入館総数

1,330校 206,859人 (前年度比 校数84.9% 人数92.6%)

九州地方からは72校、5,668人(全国の2.7%)

(3) 今後の課題

子ども向けの平和教育において、沖縄戦の実相(子どもたちが自分で考える素地となる知識)に触れるだけでは、「戦争はなんとなく怖い」「戦争は、なんとなくいけない」というところでとどまってしまうのではなからうか。

「展示むすびのことば」に

.....

いかなる人でも戦争を肯定し美化することはできないはずです。

.....

戦争を起こすのは たしかに 人間ですが、それ以上に戦争を許さない努力のできるのも私たち人間 ではないでしょうか

.....

とあるが、「いかなる戦争、自衛のための戦争もいけない」という真理を伝えていく必要があると思う。(館長の言葉より)

質疑応答

英語によるガイダンスはあるか。

展示物のガイダンスは外国語で聞けるようになっている。

昨年度、外国人の入館者は1万7千人ほどであるが、そのうち米軍関係者の来場はどのくらいか？

米軍関係者の数はとらえられていない。



【正面入口前 学芸班長 棚原氏と】

C 読谷村教育委員会(チビチリガマ、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム)【平和教育】

日時 11月15日(木) 14:00~17:20

概要説明

読谷村は、人口約41,000人で、日本一人口の多い村である。

読谷村の平和行政は、企画財政課主管である。軍用地接收への住民の反対の意を示すため、米軍の元軍用地の中に、あえて村役場を建設した。

(1) 平和教育について

すべての学校で平和教育の実施

6月は平和月間・・・6・23沖縄戦終戦の日 特設授業、平和パネル展、ビデオ上映、平和集会等の実施



【読谷村役場前】

総合的な学習の時間での取組

(例) 読谷中学校・・・チビチリガマ、シムクガマが校区内にある中学校
 平和集会朗読、劇、歌・・・脚本、創作は子どもたちが行う
 チビチリガマとシムクガマ(約800メートルしか離れていない)

【チビチリガマ】

チビチリガマは、沖縄初の集団自決が行われたガマ
 長さは40m弱でひょうたん型。約140人が避難していた。
 1945年4月2日集団自決。パニック状態になった住民たち83人が集団自決した。

【シムクガマ】

シムクガマの死者は0人。
 ガマ内に以前ハワイにいた男性2人がいた。住民にアメリカ軍規を教え、投降すれば助かることを説いた。彼ら2人に続いて住民たちが投降したことで全員保護された。

この2つのガマの比較・考察により、平和教育における大きな学びがある。

チビチリガマ損壊事件

平成29年9月10日 村外在住の16歳から19歳の少年4人が損壊

(理由) 心霊スポットとして認識し、肝試しとして行った。

保護観察処分 無知ゆえの行為だったと深く詫び、今後継承役となることを誓った。 レポートを書き、ガマ周辺を清掃し、制作した仏像12体を設置した。
 質疑応答

沖縄では戦争の悲惨さを身に染みて知り、平和教育を熱心に行っていると思うが、どうしてチビチリガマ損壊事件が起きてしまったのか。

今回の少年たちは、読谷村外の少年たちであった。インターネットで心霊スポットとして紹介されていたのを見て、肝試しを行った。チビチリガマの歴史については知っておらず、チビチリガマを心霊スポットとしてのみ認識していた。

(2) チビチリガマ視察

40分ほど滞在した。その間、千葉県の高中生が、「地域ガイド風の会」代表比嘉涼子さんの話に身じろぎもせず聞き入っていた。

約800メートルしか離れていない読谷村の2つのガマ「チビチリガマとシムクガマを比較しながら平和教育講話が行われていた。

講話では、2つのガマでの出来事からの学びとして、次のことが語られていた。

- ・確かな情報を知ることの大切さ
- ・言語学習の大切さ
- ・自分の考えをはっきりもつことの大切さ
- ・教育の大切さ
- ・いかなる戦争もいけないということ



【チビチリガマ前に降りていく】
 ガマ前のスペースで高校生向けの平和講話が行われていた。高校生は真剣に聞いていた様子だった。

(3) 世界遺産座喜味城跡コンタンザミュージアム視察

平成30年6月23日(沖縄慰霊の日)にリニューアル。展示等が新しく加わり、読谷村の歴史・自然・戦前、戦後の暮らしについて模型や写真で紹介され、発掘物や

美術品などが3万点近く収められている。



【チビチリガマ内ジオラマ】【多岐にわたる所蔵品展示】



【コンタンザミュージアム】

(4) 座喜味城跡視察

【歴史】

- 15世紀初頭、築城。
- 1944年(昭和19年)旧日本軍の高射砲陣地
- 1956年(昭和31年)琉球政府の重要文化財指定
- 1960年(昭和35年)米軍のレーダー基地となる
- 1972年(昭和47年)国指定史跡
- 1973年(昭和48年)～1985年(昭和60年)発掘調査、城壁修理
- 2000年(平成12年)「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産登録



【座喜味城跡】

D 沖縄市教育委員会(美原小学校)【外国にルーツをもつ児童生徒への対応】

日時 平成30年11月16日(金) 8:45～11:25

概要説明

副市長表敬訪問の後、教育委員会職員による説明を受ける。
 沖縄市は、サッカーJリーグFC琉球、プロバスケットボールチーム琉球ゴールデンキングの本拠地で、プロ野球広島東洋カープの春季キャンプ地でもある。スポーツによる振興を進めており、現在新アリーナを建設中である。

(1) 外国にルーツをもつ児童生徒への学校での対応について

外国籍児童生徒数(H30年度) (市内 小学校16校 中学校8校)
 小学生148人 中学生45人

国籍別人数(人) (H30.5.1現在)

	小学校	中学校
日本・アメリカ	100	32
アメリカ	21	21
フィリピン	4	6
韓国	4	7
中国	4	6
その他	0～2	0～2
合計	148	45



【沖縄市長室 表敬訪問】

○訪問指導

- ・今年度は25人が受講
- ・指導員4人
- ・指導内容

平仮名、片仮名、小1～2程度の漢字の読み書き日常生活、学校生活で使用する言葉や基本的な日常会話、基礎文法、簡単な文作りや日記、作文の書き方等。相談も行う。

外国にルーツをもつ児童生徒が抱える問題点

- ・言語の混乱 ・方言のアンバランス化
 - ・教室での孤立化
 - ・親が日本語を理解できず、子どもの問題を理解してもらえない。
 - ・S O F A (米軍基地に勤めている方)は、3～5年後に帰国することが分かっているため、日本語習得にまじめに取り組みにくい。保護者の協力が得にくい。
- 今後の課題
- ・発達障害や学習障害を抱えているかもしれない児童生徒の把握の難しさ
 - ・指導員の学校への移動の難しさ
 - ・児童生徒の増加に伴う日本語指導員の不足



【沖縄市教委職員による説明】

(2) 子どもの貧困対策の推進について

沖縄市における子どもの貧困の現状

H28年度より内閣府沖縄子供の貧困緊急対策事業を受託し、教育委員会指導課と福祉部局(こども相談健康課)で支援員配置事業や居場所運営事業に取り組んでいる。

就学援助率:約28%(小中学校合計)

家庭環境による不登校が多い。小学校28%、中学校13%

教育委員会による子どもの貧困対策事業

- ・内閣府沖縄県子どもの貧困緊急対策事業
- 学校貧困対策チーム・・・SC9人(うち1人は、コーディネーター)
- ・沖縄県子どもの貧困愛作推進交付金事業
- 検定受検料(英検、数検)自己負担分助成(対象:要保護、準要保護世帯の中学生)
- すべての生徒に対しては、半額免除
- 生活困窮世帯の子どもの学習支援については、保護課の学習支援事業(対象:保護世帯の中学生、ひとり親・準要保護世帯の中学3年生)で担っている。
- 学校と福祉の連携状況について
- ・不登校ヒヤリングの実施(指導課主催)
- 学校、教育委員会(指導課、教育研究所、青少年センター)、福祉部局(こども相談健康課、保護課)が一堂に集まり、状況や課題を共有し、支援のあり方を共通理解する場。年3回開催。
- ・SCが学校の担任に事前相談、報告及びフィードバック
- ・関係機関ファイルの作成(平成30年度)と活用
- ・こども相談健康課の体制

質疑応答

外国人児童生徒教育事業について

子どもは、どのようなところから通ってくるか?

嘉手納基地内から通ってくる子どももいる。(親が日本の教育を受けさせたい)

中学校になるときに、基地内のアメリカンスクールに進学する子どもが多い。市内小中学校に約190人の外国籍児童生徒がいるが、そのうち日本語指導が必要な子どもはどれくらいか。

約30人。今年度、そのうち25人が日本語指導を受けている。

中国国籍の児童生徒が増えているのはなぜか。

中国からの観光客が増え、観光業に携わる中国人が増えたためと考えられる。

近くの大型ショッピングセンターの従業員の子どもの数が増えているのではないかと「日本語教室」から「訪問指導」に変わったのは、なぜか。

平成3年度から11年度までは、「日本語教室」を開催していたが、「日本語教室」に通うことができない子どものため、平成12年度から「学校訪問」形式に変更。

指導員の資格は?

中英免許2種、英語教諭1種免許、TESOL(英語教授法)通訳案内士、英検準1級、ハングル検定4級等

子どもの貧困対策事業について

貧困が虐待につながるような案件はあるか。

ある。面前DV、食事を与えない、連絡に応じない、風呂に入れない等がある。虐待があった場合、児童相談所につないでいる。

不登校ヒヤリングは、不登校児童生徒全員に行っているか。

全員に3回ずつ行っている。深いかかわりが必要なケースは、その他に学校等で相談を継続している。

子どもの居場所づくり支援員はどういう方が行っているか。

子ども相談教育課の嘱託職員。社会福祉士や教員の免許を取得している。子どもの居場所づくり支援員が6名配置され、市内のこども食堂をはじめ、子どもの居場所(9か所)の運営支援に取り組んでいる。

教育委員会との連携はあるか。

ある。現在3年目だが、月1回教育委員会と話し合いをもつことで連携がしやすくなった。

(3) 美原小学校視察(日本語指導の授業参観 小4 女児)

- 教師と子ども1人のワンツーマン授業
 - 温かい信頼関係によるいきいきとした対話
 - 賞賛の言葉「うん。いいね。」「そうですね。」「とってもいいですよ」等
 - 穏やかな口調
 - ジェスチャーをつけながらの発話 等
- 子どもが安心して楽しく、成果を上げながら日本語を学んでいる様子が伺えた。



【美原小学校正門】

5 最後に

「平和教育」「性的マイノリティへの配慮」「子供の貧困への対応」「外国にルーツをもつ子どもの教育」を主なテーマにした今回の行政視察は、程度の差こそあれ、同じ課題をもつ本市教育に大いに参考になるものであり大変有意義であった。ご多様な中にも丁寧で温かい対応をしていただいた現地の各教育委員会、資料館等施設の方々及び本視察の準備を周到にいただいた教育政策課職員の方々に心より感謝する。